# 観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和７年　７月　２５日

## １．観光地域づくり法人の組織

| | | |
|---|---|---|
| 申請区分<br>※該当するものを〇で囲むこと | 広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ | |
| 観光地域づくり法人の名称 | 一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏 | |
| マネジメント・マーケティング対象とする区域 | 区域を構成する地方公共団体名<br>大分県別府市、中津市、宇佐市、豊後高田市、国東市、杵築市、日出町、姫島村 | |
| 所在地 | 大分県別府市 | |
| 設立時期 | 平成２９年４月３日設立 | |
| 事業年度 | ４月１日から翌年３月３１日までの１年間 | |
| 職員数 | ３人【常勤３人（正職員３人）】 | |
| 代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者）<br>※必ず記入すること | （氏名）<br>日置　伸夫<br>（別府市観光・産業部部長） | 代表理事・会長。<br>別府市観光・産業部部長。別府市の観光における責任者であり、（一社）豊の国千年ロマン観光圏の代表理事として広域観光圏の責任者も担う。 |
| | （氏名）<br>西田　陽一<br>（別府市旅館ホテル組合連合会　会長） | 代表理事・副会長。<br>別府市旅館ホテル組合連合会会長。おんせん県おおいた観光誘致協議会の会長も務め、大分県ともパイプを持つ。 |
| データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー<br>※必ず記入すること | （氏名）<br>堤　栄一郎「専従」 | （一社）別府市観光協会に１１年勤務。平成２９年４月に（一社）豊の国千年ロマン観光圏の事務局長に就任。事業全体の進捗管理、収集したアンケートの集計・分析などを行っている。 |
| 財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー）<br>※必ず記入すること | （氏名）<br>堤　栄一郎「専従」 | （一社）豊の国千年ロマン観光圏の事務局長として、事業全体の進捗管理、会計管理を行っている。<br>市町村負担金、収益事業収益、事業受託収入などの財源確保に関する責任を担う。<br>また、当法人の旅行業務取扱管理者であり、造成した当地域ならではの着地型旅行商品の販売、広域ガイド・英語ガイドの手配、宿泊斡旋、交通手配などの業務の責任者を務める。 |
| プロモーションの責任者（専門人材） | （氏名）<br>神元 詠子「専従」 | 平成２９年４月に（一社）豊の国千年ロマン観光圏の事務局次長に就任。前身の豊の国千年ロマン観光圏協議会より専従職員として「豊の国千年ロ |

様式１

| | | |
|---|---|---|
| | | マン観光圏」の観光地域ブランド確立支援事業、訪日外国人旅行者周遊促進事業に携わる。<br>旅行会社での勤務や海外語学研修の経験を活かし、国内・海外のプロモーションの中心的な役割を担う。<br>国内旅行業務取扱管理者資格所持。 |
| 旅行商品の造成･販売の責任者（専門人材） | （氏名）<br>堤　栄一郎「専従」 | 当法人の旅行業務取扱管理者であり、造成した当地域ならではの着地型旅行商品の販売、広域ガイド・英語ガイドの手配、宿泊斡旋、交通手配などの業務の責任者を務める。 |
| 観光品質認証部門の責任者（専門人材） | （氏名）<br>佐藤　隆<br>（(一社)豊の国千年ロマン観光圏 理事） | 日本旅行に長年勤務した経験を持つ。地域資源を活かした観光振興に取り組んでおり、幅広い人脈をもち、人材育成において高い知見と能力を持っている。<br>観光品質認証部門の責任者として、SAKURA QUALITY を導入した宿泊施設の品質向上を図る。<br>また、観光地域づくりマネージャー代表として豊の国千年ロマン観光圏のけん引役を務める。 |
| 当地域ならではの歴史を活用した企画の責任者 | （氏名）<br>小野　辰浩<br>（FeEL プロダクトカンパニー　代表） | 観光地域づくりマネージャー（観光庁認定）の１人。前職は（一社）宇佐市観光協会事務局長。宇佐神宮を中心とするこの地域の歴史に精通し、当地域ならではの歴史・文化を活かした世界でもここにしかない滞在プログラムの実施などに取り組む。自身もガイドとして活動しながら、ガイド育成等にも尽力している。 |
| 連携する地方公共団体の担当部署名及び役割 | ・関係市町村観光担当課、大分県観光誘致促進室、大分県東部振興局、大分県北部振興局（観光戦略）<br>・各市町村交通担当課（地域公共交通） | |
| 連携する事業者名及び役割 | 公益社団法人ツーリズムおおいた、各市町村観光協会<br>道の駅、里の駅、飲食業組合、国東半島峯道ロングトレイルクラブ、国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会、大分県グリーンツーリズム研究会等（滞在プログラム開発・情報発信）<br>大分航空ターミナル、旅館ホテル組合等（滞在プログラム販売）<br>商工会議所、商工会等（ふるさと名物の開発）<br>JR 九州、バス協会、タクシー協会、レンタカー協会、フェリー会社等（交通対策） | |
| 官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み | 【該当する登録要件】②<br>（概要）観光地域づくり法人が行う取り組みに関する合意形成の手順として、地域住民、民間団体とネットワークを持つ観光地域づくりマネージャー（観光庁認定）を中心に企画・立案し、その案を行政関係者が入る戦略会議にて再度議論し承認、実施を行っている。<br>また、必要に応じて「マーケティング」「滞在プログラム」「観光品質認証」等のワーキンググループを設置し、具体的な企画や取組みはワーキンググループで企画案を作成する。<br>・圏域内の行政および観光協会、観光地域づくりマネージャー（観光庁認定）がメンバーとなる会議等を２ヶ月に１回程度開催し、情報共有、事業執行状況の確認等を行ったうえで合意形成を図る。 | |

<table>
<tr><td></td><td>・観光地域づくりマネージャーが主体となり事業計画を作成し実行していくとともに、必要に応じて民間事業者の意見を反映できる観光地域づくり推進体制をつくる。</td></tr>
<tr><td>地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組</td><td>各地域にて住民参加型のワークショップを開催するほか、地域住民への啓発を目的としたシンポジウムを開催。<br>旅行業を持つ（一社）豊の国千年ロマン観光圏が旅行商品の開発・販売の窓口となっており、地域住民、民間事業者がいつでも観光地域づくりに参加できる体制となっている。<br>公式 facebook、Instagram、X を活用した情報発信など。</td></tr>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>平成２９年４月３日に設立<br><br>**・・・・・参考（平成２２年度～平成２８年度）・・・・・**<br>※以下の活動は、任意団体（豊の国千年ロマン観光圏協議会）の活動実績<br><br>平成２２年４月に観光庁から『観光圏』の認定を受け、大分県北部地域の８市町村（別府市・中津市・宇佐市・豊後高田市・国東市・杵築市・日出町・姫島村）で構成する「豊の国千年ロマン観光圏」の取り組みがスタート。<br>「千年ロマン時空の旅」というコンセプトの基、千年以上の歴史・温泉・食をテーマにした事業を各市町村、民間団体の協力により実施することとなった。<br><br>
<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・平成２２～２８年　プロモーション推進事業<br>ブランドコンセプトに沿った HP、ガイドブック、広域マップの作製。<br>東九州自動車道を活用した誘客プロモーション等。<br>・平成２３年、２４年　千年ロマン号運行事業<br>小倉駅から出発し圏域をめぐるバスを運行。圏域の歴史を案内するバスガイドが乗車し、各地域では地元ガイドが案内した。<br>・平成２７年～　全国観光圏推進協議会<br>全国１２（現１３）観光圏が定期的に集まり、情報共有と連携事業を協議する全国観光圏推進協議会を開催。また、全観光圏共同でシンポジウムを開催し、観光圏の取組みを発表した。</td></tr>
<tr><td>受入環境の整備</td><td>・平成２３～２８年　ガイド育成事業<br>圏域内の歴史をまとめたガイドマニュアル本を作成。マニュアル本を活用した歴史検定やガイド研修会を開催した。<br>・平成２３～２６年　別府八湯温泉道特別編<br>別府市内の温泉を８８箇所めぐると温泉道名人に認定される「別府八湯温泉道」に、圏域内の特徴的な温泉を加え、特別に認定する企画を実施した。計 500 名が認定。<br>・平成２８年　法人化準備<br>プラットフォーム機能を強化するため、一般社団法人化を進めた。</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

| | |
|---|---|
| 観光資源の磨き上げ | ・平成２４年～　千年ロマン夜学<br>住民が参加するワークショップを開催。当地域ならではの歴史・文化をテーマとした体験プログラムを企画した。<br>・平成２５・２６年　千年ロマン時空博<br>千年ロマン夜学で企画した体験プログラムを開催。２５年は 20 プログラム、２６年は 46 プログラムを実施。<br>・平成２７年～　一丁目一番地の滞在プログラム<br>ここにしかない価値、歴史、文化を活用した滞在プログラムとして、宇佐神宮の幻の特殊神事「行幸会」をモチーフとした周遊ラリー、ウォーク大会を開催。 |

**・・・・・・・法人設立後の取組み・・・・・・・**

平成２９年４月３日に設立。６月１日に旅行業２種免許を取得し、収益事業としてこれまで造成してきた滞在コンテンツの販売、育成したガイドの手配に加え、宿泊斡旋、交通手配等の旅行業務を行う体制を構築し、ワンストップ窓口機能を強化した。

| 事業 | 実施概要 |
|---|---|
| 情報発信・プロモーション | ・公式 HP,SNS を活用した情報発信<br>公式 HP は日本語・英語ともに申込機能を持ち、当地域のアクティビティや体験を販売している。<br>令和 7 年に宇佐神宮御鎮座 1300 年を迎えるにあたり、公式 HP 内に宇佐神宮 1300 年の特集ページを整備した。<br>・旅行会社、ランドオペレーターへのセールス<br>自社商品の販売強化を目的とし、ターゲットとする欧米豪を顧客に持つ旅行会社・ランドオペレーターへのセールス・プロモーションを継続して行っている。<br>・全国観光圏推進協議会<br>全国１１観光圏が定期的に集まり、情報共有と連携事業を協議する全国観光圏推進協議会を継続して開催。<br>「Undiscovered Japan」をテーマとした合同プロモーションを継続して実施。<br>・九州３観光圏の連携<br>九州にある３つの観光圏が連携し、３観光圏をめぐる北部九州のモデルルートを設定し、営業ツール（日・英）にまとめた。各商談会で活用し九州への誘客を図る。<br>・JNTO と連携した海外プロモーション<br>JNTO のコンテンツ収集事業やオウンドメディア活用事業等を活用し、当地域の魅力的なコンテンツや観光資源を海外に発信する。<br>・農林水産省認定「SAVOR JAPAN」<br>2020 年度に認定を受け 2025 年に認定更新。農林水産省の本事業を活用しながら当地域ならではの食・食文化を海外に発信する。 |
| 受入環境の整備 | ・ガイド育成<br>ガイド研修を継続して行っており、登録数は下記の通り |

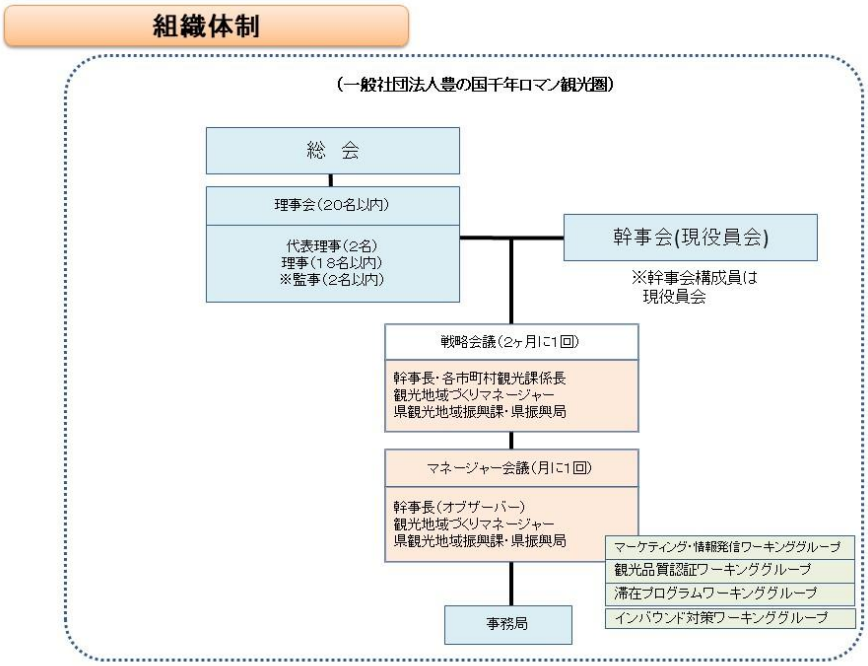
様式１

| | | |
|---|---|---|
| | | 広域ガイド34名、英語21名、中国語11名、韓国語2名、世界農業遺産「GIAHS」認定ガイド23名<br>旅行業を活用したガイド手配を行っている。<br>・観光案内所連携強化<br>観光案内所の連携強化を図るための合同研修を継続して開催。共通案内版、パンフレットラックを整備した。<br>定期的に情報交換会、研修会を開催する。<br>・観光品質認証事業<br>観光品質認証制度「SAKURA QUARITY」を導入し、圏域内の宿泊施設の品質向上を図っている。施設向けのセミナーの開催し、インバウンド受入の強化を図る。<br>・スオーナダフェリー＆レンタカープラン<br>山口・広島を主なターゲットとして、スオーナダフェリーとレンタカーを組み合わせた旅行商品を造成し、販売を行うこととした。国東半島の二次交通対策にも繋がった。<br>・サイクルツーリズムの推進<br>メイプル耶馬サイクリングロードを活用したモデルコースの他、国東半島をめぐるサイクリングコース「仁王輪道」が完成。主要なサイクリングコースを繋ぐルートを整備。<br>サイクリングガイドであるOita Cycle Tour RING、やばけいサイクリングツアーズ、E-bike等のレンタサイクルを扱う杵築市観光協会等との連携により、地元のサイクリングガイドが案内するサイクリングツアーが企画・実施できるようになった。 |
| | 観光資源の磨き上げ | ・アドベンチャーツーリズムの推進<br>国東半島峯道ロングトレイルを柱とし、サイクリング、マリンアクティビティ、文化体験と宿泊、交通を組み合わせ、スルーガイドとアクティビティガイドが案内するツアーを造成し販売している。欧米豪の旅行会社からのオーダーによるツアーを企画・販売する。<br>・一丁目一番地の滞在プログラム<br>これまで取り組んできた宇佐神宮の「行幸会」の道を活用した企画では、地元ガイドが案内するウォーキングツアーとして開催した。令和元年は英語ガイドが案内するインバウンド向けツアーとして企画しモニターツアーを実施。販売を開始した。<br>・国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会（大分県農林水産企画課）との連携により、世界農業遺産をテーマとするコンテンツを造成し販売している。 |

【定量的な評価】

・滞在コンテンツ等の販売実績（全体）　※（ ）内は外国人

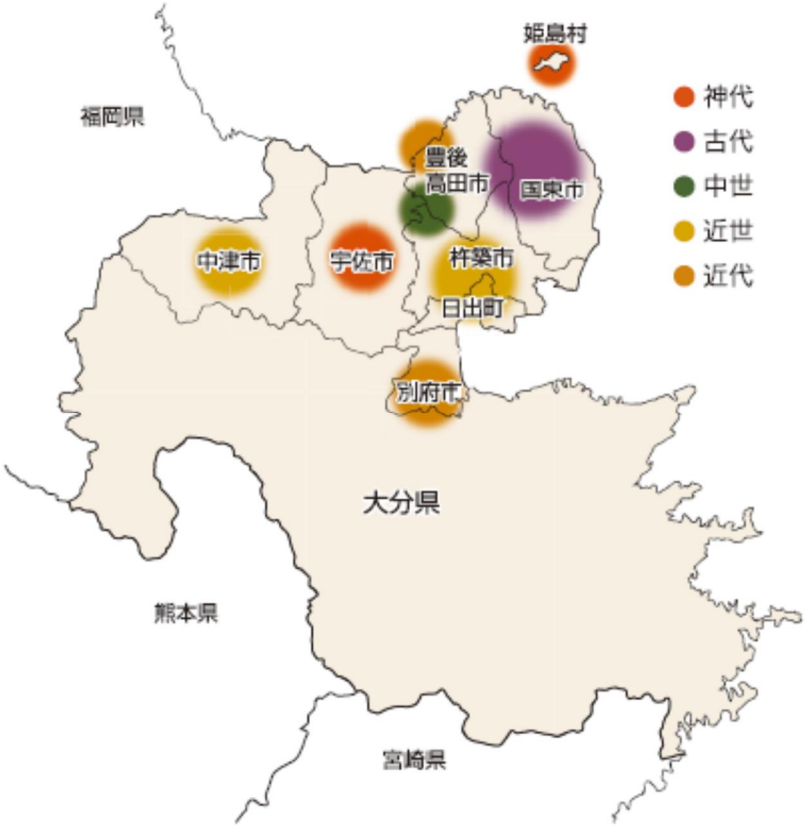
2016年：24(1)件・234(4)名　　2017年：70(4)件・522(30)名
2018年：91(13)件・480(25)名　　2019年：117(14)件・603(85)名
2020年：53(11)件・266(52)名　　2021年：120(17)件・697(60)名
2022年：249(56)件・1848(527)名　　2023年：261(52)件・1594(384)名
2024年：348(130)件・2251(1099)名

| | |
|---|---|
| | ・スオーナダフェリー＆レンタカープラン販売実績(申込件数・利用者数)<br>2018 年：26 件・75 名、2019 年：52 件・138 名、2020 年：4 件・7 名<br>2021 年：10 件・23 名、2022 年：12 件、26 名、2023 年：12 件、30 名<br>2024 年：19 件・51 名<br>・登録ガイド数<br>広域ガイド 34 名、英語ガイド 21 名、中国語ガイド 11 名、<br>韓国語ガイド 2 名、世界農業遺産 GIAHS 認定ガイド 23 名<br>・ガイド手配実績　※（ ）内は外国人<br>2016 年：12（1）件・232（2）名　2017 年：38（1）件・764（13）名<br>2018 年：27（4）件・607（19）名　2019 年：28（7）件・597（90）名<br>2020 年：9（2）件・32（2）名　2020 年：17（7）件・174（33）名<br>2022 年：48（26）件・475（225）名 2023 年：50（35）件・435（300）名<br>2024 年：69（43）件・520（302）名 |
| 実施体制<br>※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。 | **【実施体制の概要】**<br>（一社）豊の国千年ロマン観光圏のメンバーには、観光地域づくりマネージャー（観光庁認定）を中心に、行政、宿泊業関係者、交通事業者など多様な関係者が参画し、官民が密接に連携した運営を実施している。<br>２ヶ月に１回程度開催する「マネージャー会議」にて、行政・民間・地域の橋渡し役となる観光地域づくりマネージャーを中心に、民間主導型で具体的な事業立案を行い、行政担当者が加わる戦略会議、幹事会と会議を重ねて合意形成を図る。<br>必要に応じて関係者を招集するワーキンググループを開催し、各テーマに合わせた意見交換、情報共有を行い、当地域における課題を解決するための取組みについて議論する。<br>観光庁の認定を受けた「観光地域づくりマネージャー」は計 16 名。(DMO 職員 2 名を含む)<br><br>**【実施体制図】**<br>  |

様式１

## ２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

**【区域の範囲が分かる図表を挿入】**




**【区域設定の考え方】**

地域全体としては、日本有数の温泉地である別府に加え、宇佐神宮の影響を受け国東半島で栄えた「六郷満山文化」など、古代から中世、明治、大正、昭和と千年の時の流れを感じることができるほど歴史的な地域資源が豊富である。中でも、「宇佐神宮」、「富貴寺大堂」という２つの国宝をはじめ、数々の史跡など総体として魅力を発信する地域であり、誘客力を十分有しているといえる。

平成２２年から、区域を構成する地方公共団体で豊の国千年ロマン観光圏協議会を設置しており、顧客視点に立ち、旅行商品の開発など連携した取組を実施。平成２９年４月３日に一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏を設立。豊の国千年ロマン観光圏協議会の事業を継承した。

また、観光資源の面からみてもコンセプトとして共通する点が多く、当該市町村で連携した区域設定とするのが適切である。

**【観光客の実態等】**

当圏域は、全国４万社余りある八幡社の総本宮である「宇佐神宮（国宝）」をはじめとした数多くの歴史遺産、九州最古の木造建築物「富貴寺（国宝）」、国内最大級の熊野磨崖仏、重要文化財の仏像９体を有する「真木大堂」など六郷満山文化ゆかりの史跡、中世の荘園集落の姿を今にとどめる「田染荘」、近世の３城下町（中津、杵築、日出）、日本を代表する温泉地別府など観光資源が豊富にあり、別府市においては、年間２３０万人を越える宿泊客がある。

一方、その他の地域においては、知名度不足やアクセス不便、受入環境が整っていないことから、観光客増加に結びついていない状況があり、特にインバウンドの受入が課題であったが、多言語ガイドの育成や当地域ならではの魅力的なコンテンツの造成を継続し、当 DMO が販売・手配することで、圏域内の周遊・滞在促進につながる事例が増えてきた。

新型コロナウイルスの感染拡大によってインバウンドは大きく減少していたが、インバウンド回復後はターゲットとする欧米豪市場からの入込が増加しており、欧米豪市場をターゲットとして造成したアドベンチャーツーリズムのコンテンツや文化・農業体験などに予約が入るようになっている。欧米豪のインバウンドは滞在・交流型の移動が多く、別府温泉を拠点に周辺地域をめぐる周遊・滞在に繋がりつつある。

≪参考≫
区域内の市町村にある主な観光施設等の観光客数は以下のとおりである。
・別府八湯（別府市）・・・年間約８１６万人
・宇佐神宮（宇佐市）・・・年間約１６０万人
・中津城（中津市）・・・年間約３５万人
・きつき城下町ほか（杵築市）・・・年間約１００万人
・昭和の町（豊後高田市）・・・年間約４０万人

**【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】**
≪主な観光施設・商業施設≫
・別府地獄めぐり（別府市）
・別府市竹細工伝統産業会館（別府市）
・別府ロープウェイ（別府市）
・地獄蒸し工房　鉄輪（別府市）
・的山荘（日出町）
・杵築城（杵築市）
・杵築城下町と武家屋敷（杵築市）
・昭和の町（豊後高田市）
・中津城（中津市）
・福澤諭吉旧居（中津市）

≪自然・文化≫
・宇佐神宮（国宝・宇佐市）
・富貴寺大堂（国宝・豊後高田市）
・六郷満山寺院（両子寺、文殊仙寺、天念寺など）
・国東半島宇佐地域（世界農業遺産認定エリア、日本遺産認定）
・豊後高田市田染荘小崎地区の農村景観（重要文化的景観）
・別府の湯けむり・温泉地景観（重要文化的景観）
・別府湾岸・国東半島海辺の道（日本風景街道）
・おおいた姫島ジオパーク（日本ジオパーク認定）
・耶馬溪（新日本三景、日本遺産認定）
・杵築城下町（国の重要伝統的建造物群保存地区選定）

≪スポーツ・イベント等≫
・別府温泉まつり（別府市）
・城下かれいまつり（日出町）
・ホーランエンヤ（豊後高田市）
・姫島盆踊り（姫島村）
・放生会（宇佐市）
・ケベス祭り（国東市）
・修正鬼会（国東市・豊後高田市）
・ひなまつり（中津・杵築・日出）
・べっぷ鶴見岳一気登山大会（別府市）

各地にある観光資源は、それぞれ時代が異なっており（神代から近代まで）、それぞれを結びつけることで、周遊・滞在を促進することができる。神代から中世にかけては、神話の島「姫島」、宇佐神宮から国東半島の六郷満山文化、田染荘の荘園風景など、近世から近代までにかけては中津、杵築、日出のそれぞれ魅力ある城下町文化の体感、豊後高田で復興した昭和の町並み「昭和のまち」、別府の共同温泉文化まで千年を超える歴史をテーマとして広域的に周遊できる。

**【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】**

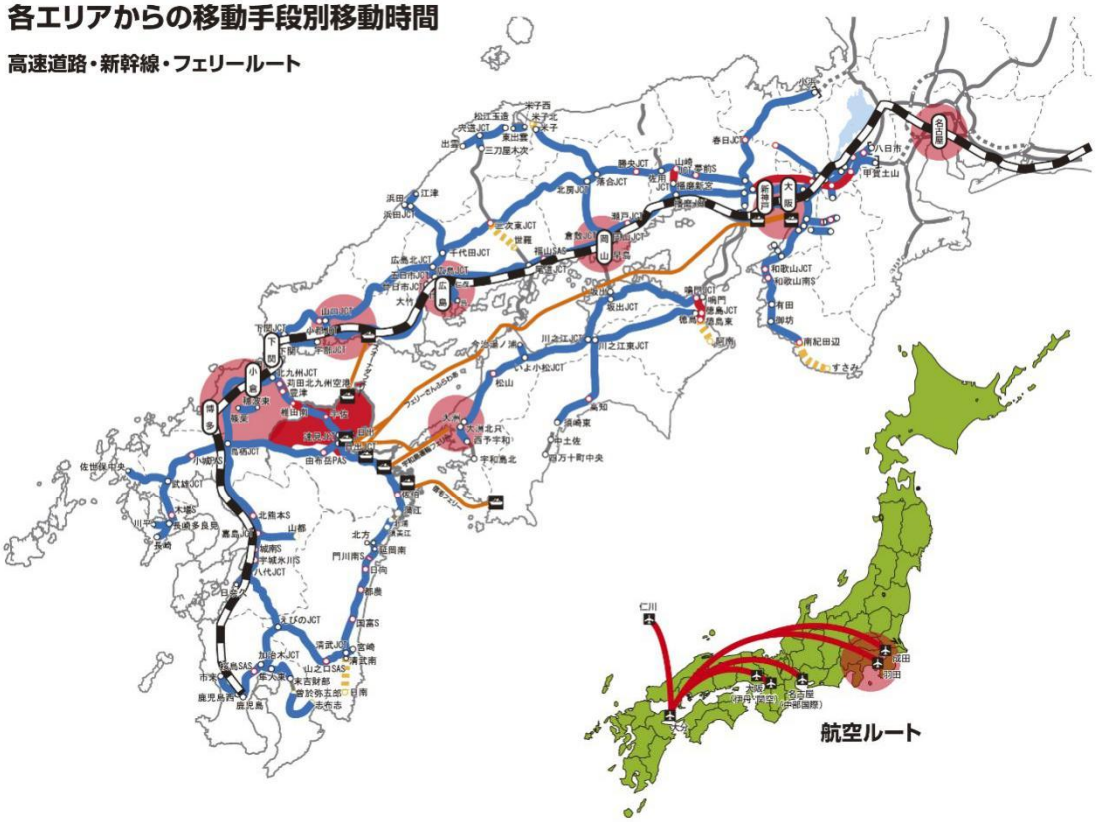
| 市町村名 | 施設数 | 収容力 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| 別府市 | 108 | 4,419 室　14,449 人 | ※旅館ホテル組合加盟施設のみ |
| 中津市 | 19 | 773 室　1,581 人 | |
| 宇佐市 | 12 | 211 室　781 人 | |
| 豊後高田市 | 9 | 237 室　480 人 | |
| 国東市 | 23 | 266 室　959 人 | |
| 杵築市 | 12 | 638 人 | |
| 日出町 | 4 | 580 室　1,188 人 | |
| 姫島村 | 9 | 288 人 | |

様式１

【利便性：区域までの交通、域内交通】

## 各エリアからの移動手段別移動時間

**高速道路・新幹線・フェリールート**




## ■ 観光圏エリアの交通

国際線の航空アクセスは、羽田・成田・中部国際・関西国際に加え、韓国仁川とあり、外国人観光客のアクセスは、首都圏では羽田・成田からの航空便。関西圏からは関西国際での乗り換えかJR移動の動線になる。

観光圏エリア周遊は、JRもしくは大分空港からのレンタカーが主になり、国内外からの来訪者受け入れには、二次交通の整備が現状としては必要になる。

※ 別府駅着の時間で算出
※ 交通が赤色のマークは各エリアの主な移動手段

**東京**
- 羽田発・約1時間35分（バス込2時間20分）
  成田発・約2時間（バス込2時間45分）
- 東京駅-別府駅 約6時間20分

**名古屋**
- 中部発・約1時間10分（バス込1時間55分）
- 名古屋駅-別府駅 約4時間40分

**大阪神戸**
- 伊丹発・約1時間5分（バス込1時間50分）
- 新大阪駅-別府駅 約3時間50分

- スオーナダフェリー（徳山-竹田津）約2時間
- 宇和島運輸フェリー（八幡浜-別府）約2時間45分
- さんふらわあ（大阪-別府）約11時間45分
- さんふらわあ（神戸-大分）約11時間20分

**岡山**
- 岡山駅-別府駅 約2時間55分
- 約6時間

**広島**
- 広島駅-別府駅 約2時間20分
- 約4時間30分

**下関小倉**
- 約1時間30分
- 約2時間

様式１

≪空路≫

国東市にある大分空港の路線は、国内５路線（東京（羽田・成田）、大阪（伊丹）、名古屋（中部国際空港））に加え、国外２路線（ソウル・台北）が運航している。

大分空港周辺にはレンタカー会社も多くあり、圏域内市町村への向かう路線バスまたはアクセスバスが運行している。

≪陸路・自動車≫

圏域内の自動車での移動は東九州自動車道（有料）、大分空港道路（無料）を利用することで係る時間は概ね１時間程度である。

≪陸路・鉄道≫

ＪＲ（日豊本線）の駅が、中津・宇佐・杵築・日出・別府にある。特別急行ソニックを利用することで福岡市まで約２時間で移動できる。

≪海路≫

別府市にある国際観光港からは、大阪府へ向かうフェリー、愛媛県八幡浜へ向かうフェリーが運航している。また、竹田津（国東市）と徳山（山口県）を結ぶフェリーも運航している。

**【外国人観光客への対応】**

別府市にある別府外国人観光客案内所（ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所：カテゴリー２）には翻訳されたパンフレットはもちろん、ネットの設備もあり、外国人観光客が別府市、大分県内の歴史や観光スポットを訪れる際は、同施設を利用して旅を満喫できるようサービスを提供している。

ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所は上記のほかに、「杵築駅観光案内所（カテゴリー２）」「杵築市観光案内所」「道の駅くにさき　くにさき観光案内所」「中津耶馬渓観光協会」（全てカテゴリー１）があり、各案内所との連携を図ることによって、広域の観光案内も可能となる。

圏域内では自治体・観光協会等の取り組みにより、Ｗｉｆｉ環境、トイレの整備、多言語パンフレットの整備なども進んできている。

様式１

## ３．各種データ等の継続的な収集・分析

| 収集するデータ | 収集の目的 | 収集方法 |
|---|---|---|
| 旅行目的・同行者 | 来訪者が当地域に何を目的に、誰と訪れているかを調査し、今後の観光振興策に活かしていくため。 | アンケート調査（聞き取り調査・宿泊施設留め置き調査/郵送回収）を実施する。<br>全国１１観光圏共通フォーマットによる来訪者満足度調査。全体、エリア毎の比較が可能。 |
| 旅行消費額 | 当地域での消費額を調査することで、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。 | |
| 情報収集の手段 | 来訪者が何を見て当地域を訪れているかを調査することで、広告等を実施するにあたって効果的な手段について参考にするため。 | |
| 来訪者の総合満足度 | 当地域を訪れた観光客の総合満足度を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。 | |
| 来訪者の再来訪意向 | 当地域を訪れた観光客の再来訪意向を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。 | |
| リピーター率 | 当地域を訪れた観光客のリピーター率を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。 | |
| 延べ宿泊者数 | 当地域で宿泊した観光客の数を調査し、今後の観光振興策の基礎資料として活用するため。 | 各市町村観光統計より収集。 |
| ＷＥＢサイトのアクセス状況 | 地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。 | グーグルアナリティクスを活用して実施。 |
| 住民満足度 | 観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。 | 公益法人ツーリズムおおいたがアンケート調査を実施。 |

様式１

## ４．戦略

### （１）地域における観光を取り巻く背景

圏域内の各市町村では人口減少が進んでおり、農林水産業においても高齢化等の影響で就業者や事業所が減少傾向にある。
こうした地域の課題に対し、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）を中心として既存の観光資源を活用した観光地域づくりを図り、新たな雇用の創出や担い手不足の解消、交流人口の増加につなげることとしている。

### （２）地域の強みと弱み

| | 好影響 | 悪影響 |
|---|---|---|
| 内部環境 | 強み（Strengths）<br>・宇佐神宮・六郷満山という神仏習合の文化の唯一無二の資源<br>・神代から近代まで歴史を体感できる「時空の旅」の素材が豊富<br>・別府市は温泉資源が豊富で、留学生が多い<br>・世界農業遺産に認定された農林水産業システム<br>・欧米系外国人の受入に対する経験値 | 弱み（Weaknesses）<br>・知名度不足<br>・国東半島地域における公共交通アクセスの不便 |
| 外部環境 | 機会（Opportunity）<br>・２０１６年（平成 28 年）東九州自動車道の全線開通<br>・２０１８年（平成 30 年）に開山 1300 年を迎えた六郷満山文化<br>・２０１９年（令和元年）ラグビーW杯の開催（大分市が試合会場となった）<br>・２０２５年に宇佐神宮創建 1300 年を迎える<br>・インバウンドの回復 | 脅威（Threat）<br>・他の観光地との競争激化<br>・外国人観光客のニーズの多様化<br>・発地への情報発信の多様化 |

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

### （３）ターゲット

〇国外ターゲット層
　欧米豪のハイエンド層

〇選定の理由
　当圏域は、神仏習合発祥の地である宇佐神宮を中心として繁栄した六郷満山文化をはじめ、世界農業遺産に認定された循環型農業、日本を代表する温泉地別府など、歴史、自然、文化が色濃く残り、日本の原風景を数多く感じることができる地域であるとともに、じっくり、ゆっくり、歩くくらいの速度で巡ることが、最大の魅力である。また、そういった当地域ならではの歴史・自然・文化を体感でき、ターゲットに刺さるコンテンツを造成し、成果が得られるようになっている。
　よって、当圏域の魅力に対して価値を感じること、また、長期的な滞在に繋げられることから、欧米豪のハイエンド層を対象としている。

| |
|---|
| なお、当圏域内にある、主に英語圏の外国人を対象としたツアー会社「Walk Japan」では、上述の魅力を活かしたツアー（5 泊～10 泊程度）を企画し、当圏域に多くの高単価旅行客（費用：一人１日につき 50,000 円程度）を受け入れており、当地域にそのポテンシャルがあることを証明している。<br>〇取組方針<br>当地域ならではの自然・歴史・文化を体感でき、ターゲットに刺さるコンテンツの造成・販売、多言語ガイドの手配を当 DMO が中心に行い、当地域への誘客につなげる。<br>全国１２観光圏で連携し、ゴールデンルートに代わる新たな観光地域として情報発信を行っていくとともに、ターゲット市場を顧客に持つ旅行会社やランドオペレーターが参加する旅行商談会等で情報発信を行い、当地域への誘客を図る。<br>また、外国人受入環境の整備については大分県や市町村等によって進められており、今後もストレスフリーの環境づくりを進めていく。 |
| 〇国内第１ターゲット層<br>関東 |
| 〇選定の理由<br>・国内最大のマーケットである。<br>・圏域内にある大分空港を結ぶ航空便が豊富にある。<br>・当圏域への宿泊客が福岡県に次いで多い。<br>・滞在日数が長い。<br>〇取組方針<br>大分県（東京事務所等）と協働し、パブリシティを中心したプロモーション活動を行う。 |
| 〇国内第２ターゲット層<br>福岡県・山口県・広島県 |
| 〇選定の理由<br>・九州のヒト・モノ・情報が集まる一大マーケットである。（福岡県）<br>・平成 28 年 4 月の東九州自動車道全線開通により、アクセス環境が格段に向上した。（福岡県、山口県、広島県）<br>・当圏域に対する十分な需要が見込める。（福岡県及び広島県において、当圏域に対する需要調査より）<br>・スオーナダフェリーの利用により圏域への移動が便利。（山口・広島）<br><br>〇取組方針<br>大分県と連携をはかりながらプロモーション活動を実施していく。<br>徳山港（山口県）と竹田津港を結ぶスオーナダフェリーを活用し、山口・広島からの誘客を図る。 |

## （４）観光地域づくりのコンセプト

| | |
|---|---|
| ①コンセプト | 『千年の記憶がひもとく　知られざる日本』<br>―千年ロマン時空の旅― |
| ②コンセプトの考え方 | ・コンセプトストーリー<br>大分県８市町村に息づく神代・古代・中世・近世・近代の千年を超える歴史。現在の日本を形づくってきた歴史が記憶となってこの地に刻まれている。それはこの地で生きぬいてきた人々の記憶であり、絶え間なく受け継がれてきた場所文化の記憶として残されている。<br>奈良・京都・大阪・江戸などの表舞台で繰り広げられたいわゆる日本史とは異なる歴史がこの地にある。語り、紡がれた知られざる日本の物語を千年の記憶がひもといてゆく。 |

| | |
|---|---|
| | 千年ロマン時空の旅は、知られざる日本の姿を時空を超える旅でひもといていくもの。その鍵は、旅の中で出会う今を生きる人々の語りの中に隠されている。<br><br>・千年の記憶<br>神代から近代までの千年の時の流れに培われた暮らし・生活文化の記憶。<br>千年を超えて受け継がれてきたこの地で暮らす人々の語りの記憶。<br>それぞれの時代の痕跡が今もなおその姿を残す場所の記憶。<br><br>・知られざる日本<br>表舞台の「都」の歴史文化では語れない、もう一つの日本の歴史文化。<br>宇佐神宮・六郷満山文化に秘められた神仏習合の歴史。<br>どこか忘れてしまっているようなかつてあった日本の生活文化。 |

## ５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

| 項目 | 概要 |
|---|---|
| 戦略の多様な関係者との共有<br>※頻度が分かるよう記入すること。 | マネージャー会議、戦略会議、幹事会、理事会での報告・説明 |
| | 観光地域づくり法人（地域連携ＤＭＯ）、観光地域づくりマネージャーが中心となり、地域の関連事業者を集めたコミュニーションの場を設け、情報共有、共通認識を図る。<br>実施体制（P5）の通り、事務局会議(必要に応じて)⇒マネージャー会議(２ヶ月に１回程度)⇒戦略会議(2ヶ月に１回程度)⇒幹事会(年３回程度)⇒理事会(年２回)・総会(年１回)と会議を重ねる。<br>マーケティングデータに基づく戦略づくり。<br>必要に応じてテーマ毎にワーキンググループを設置。<br>観光庁認定「観光地域づくりマネージャー」：16名（内DMO職員2名） |
| 観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築 | 宿泊施設の認証制度「SAKURA QUALITY」を全国の観光圏と連携して実施。<br>施設向けセミナーの開催等。 |
| 観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション | 旅行業を持つ観光地域づくり法人（地域連携ＤＭＯ）がワンストップ窓口となるプラットフォーム機能を持ち、当地域ならではの旅行商品の販売、ガイド手配等によりターゲット市場の誘客を図る。<br>大分県及び各市町村の他、JNTOや九州観光機構と連携し、ターゲットに対して一元的で効果的なプロモーションを実施する。 |

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

様式１

## ６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

### （１）必須ＫＰＩ

| 指標項目 | | 2021（Ｒ３）年度 | 2022（Ｒ４）年度 | 2023（Ｒ５）年度 | 2024（Ｒ６）年度 | 2025（Ｒ７）年度 | 2026（Ｒ８）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●旅行消費額 ※一人あたり（円） | 目標 | 30,398 | 32,398 | 36,041 | 37,041 | 38,041 | 39,041 |
| | | (67,204) | (69,204) | (55,000) | (72,000) | (74,000) | (76,000) |
| | 実績 | 17,742 | 35,041 | 32,797 | 36,630 | | |
| | | 集計なし | 51,021 | 71,098 | 73,431 | | |
| ●延べ宿泊者数（千人） | 目標 | 2,461 | 2,861 | 2,783 | 3,275 | 3,375 | 3,475 |
| | | (100) | (300) | (616) | (725) | (800) | (850) |
| | 実績 | 1,664 | 2,616 | 3,296 | 集計中 | | |
| | | (2) | (51) | (337) | 集計中 | | |
| ●来訪者満足度（%） | 目標 | 32.5 | 32.6 | 35.0 | 36.8 | 36.9 | 37.0 |
| | | (26.7) | (27.2) | (42.0) | (41.9) | (42.0) | (42.1) |
| | 実績 | 33.0 | 34.6 | 36.7 | 36.5 | | |
| | | 集計なし | 41.8 | 41.8 | 39.7 | | |
| ●リピーター率（%） | 目標 | 62.4 | 62.5 | 53.0 | 54.0 | 55.0 | 56.0 |
| | | (30.8) | (31.3) | (28.0) | (29.0) | (30.0) | (31.0) |
| | 実績 | 53.0 | 49.8 | 53.6 | 59.0 | | |
| | | 集計なし | 26.2 | 27.5 | 28.2 | | |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**
目標値は状況を見ながら常に見直しを検討する。令和２年度から続いている新型コロナウイルスの感染拡大の影響を踏まえ、令和５年度以降の目標値の見直しを行った。
令和７年度までにコロナ禍前までの数値に回復を目指す。

**【設定にあたっての考え方】**
●旅行消費額
ＤＭＯとしてこの地域にお金を落とす仕組みづくりを担っていくにあたり、旅行消費額が向上しているかどうかは成果目標の一つ。
令和４年度の結果によれば観光客の動きはコロナ禍前に戻りつつあり、令和５年度以降は拡大を目指す。

●延べ宿泊者数
滞在交流型観光を目指すこと、滞在時間の延長を図るには宿泊が必須。
国内の人口減少を要因とした国内客の減少が見込まれるため、外国人観光客の拡大を強化する。
新型コロナウイルスの影響が緩和し、インバウンドが再開したことから令和７年度までにコロナ禍前の数値への回復を目指す。

●来訪者満足度

リピーターを増やすためには、満足度調査の内、「大変満足」の数値を高めていくことが重要。
地域別のデータを見ると、宿泊の拠点となる別府や、外国人観光客に人気の杵築などは満足度が高いものの、その他の地域で平均値を下げていることがわかる。満足度の低い地域での取り組みを強化することで、全体の満足度を高める。

●リピーター率
地域活性化のためにはリピーターの獲得が欠かせない。当然成果目標の一つとする。
数値は上がっていないが、入込客数は増えているため、新規顧客が増加したと考えられる。別府はリピーターが多く、その他の地域は「初めて」の比率が相対的に高い。

## （２）その他の目標

| 指標項目 | | 2021（Ｒ３）年度 | 2022（Ｒ４）年度 | 2023（Ｒ５）年度 | 2024（Ｒ６）年度 | 2025（Ｒ７）年度 | 2026（Ｒ８）年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ●HP 年間アクセス数（PV） | 目標 | 100,000 | 110,000 | 120,000 | 130,000 | 140,000 | 150,000 |
| | | (2,500) | (2,800) | (3,000) | (3,500) | (4,000) | (4,500) |
| | 実績 | 108,023 | 108,844 | 97,673 | 105,681 | | |
| | | (1,351) | (1,832) | (2,298) | (1,568) | | |
| ●滞在コンテンツ利用者数（人） | 目標 | 400 | 500 | 2,000 | 2,500 | 3,000 | 3,500 |
| | | (85) | (135) | (600) | (800) | (1,000) | (1,200) |
| | 実績 | 697 | 1,848 | 1,594 | 2,251 | | |
| | | (60) | (527) | (384) | (1,099) | | |
| ●ガイド手配件数（件） | 目標 | 15 | 20 | 50 | 55 | 60 | 65 |
| | | (10) | (15) | (30) | (40) | (45) | (50) |
| | 実績 | 17 | 48 | 50 | 69 | | |
| | | (7) | (26) | (35) | (43) | | |

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

**【検討の経緯】**
滞在交流型観光を行っていく上で滞在コンテンツを充実させること、情報を来訪前に届けることは重要であり、年々、増加させていく目標値を作る。ただし、自然災害の影響により急激に落ち込むことも想定されるため、そうした場合には常に見直しを行う。
令和４年度は新型コロナウイルスの影響の緩和とインバウンドの回復により実績が拡大したことから、令和５年度以降の目標値の見直しを行った。

**【設定にあたっての考え方】**
●ＨＰアクセス数
情報発信において最も有効な手段の一つ。認知度向上、滞在コンテンツの利用に繋げるためにもＨＰの閲覧数を増やしていく考えは重要。
平成３０年は国東半島六郷満山が開山して 1300 年の記念の年にあたり、平成２８年からプロモーションキャンペーンが行われ、平成２９年に六郷満山特集ページを新規開設し閲覧が大幅に伸びた。しかしプロモーションキャンペーンが終了したことから、令和２年からは閲覧数が減少している。令和５年１月以降、英語ページの閲覧が伸びており、特に英語ページの PV 拡大を図る。

●滞在コンテンツ利用者数

地域活性化を目指した滞在交流型観光を目指すにあたり、滞在コンテンツを充実させ、利用を拡大させていくことが重要。
主力となる商品を新たに企画し、利用者数の増加を目指す。
令和４年度実績をベースに、実績を拡大していく。

●ガイド手配件数
歴史・文化をテーマとした観光地域づくりを行っていることから、ガイドが重要となっている。
新型コロナウイルス感染拡大の影響により団体旅行が激減し実績も落ち込んだが、令和４年度実績をベースに、実績を拡大していく。
特に英語ガイドの育成、ネットワーク強化を図り、インバウンド対策を強化することで増加を図る。

## ７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

### （１）収入

| 年（年度） | 総収入（円） | 内訳（具体的に記入すること） |
|---|---|---|
| 2021（Ｒ３）<br>年度 | 44,572,860（円） | 【国からの補助金】 2,551,553<br>【市町村からの負担金】21,932,650<br>【事業受託収入】6,589,623<br>【収益事業】1,018,127<br>【会費】390,000<br>【その他】179<br>【前年度繰越金】12,090,728 |
| 2022（Ｒ４）<br>年度 | 64,484,522（円） | 【国からの補助金】 1,563,279<br>【市町村からの負担金】25,988,053<br>【事業受託収入】18,455,000<br>【収益事業】4,421,207<br>【会費】370,000<br>【その他】171<br>【前年度繰越金】13,686,812 |
| 2023（Ｒ５）<br>年度 | 55,586,420（円） | 【国からの補助金】 4,334,197<br>【市町村からの負担金】25,000,000<br>【事業受託収入】1,100,000<br>【収益事業】6,222,594<br>【会費】380,000<br>【前年度繰越金】18,549,431 |
| 2024（Ｒ６）<br>年度 | 52,289,285（円） | 【国からの補助金】 3,310,406<br>【大分県からの補助金】 565,000<br>【市町村からの負担金】26,000,000<br>【事業受託収入】9,700,900 |

| | | |
|---|---|---|
| | | 【収益事業】18,052,117<br>【会費】390,000<br>【前年度繰越金】17,054,285 |
| 2025（Ｒ７）<br>年度 | 54,332,555（円） | 【国からの補助金】 1,373,333<br>【市町村からの負担金】25,000,000<br>【事業受託収入】1,265,820<br>【収益事業】10,000,000<br>【会費】380,000<br>【前年度繰越金】16,413,402 |
| 2025（Ｒ８）<br>年度 | 54,332,555（円） | 【国からの補助金】 1,373,333<br>【市町村からの負担金】25,000,000<br>【事業受託収入】1,265,820<br>【収益事業】10,000,000<br>【会費】380,000<br>【前年度繰越金】16,413,402 |

**（２）支出**

| 年（年度） | 総支出 | 内訳（具体的に記入すること） |
|---|---|---|
| 2021（Ｒ３）<br>年度 | 30,886,048（円） | 【一般管理費】16,503,031<br>【情報発信・プロモーション】7,860,161<br>【受入環境整備等の着地整備】1,101,295<br>【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】1,313,418<br>【マーケティング（市場調査、ブランド戦略等）】2,094,216<br>【収益拡大事業】348,682<br>【その他】1,665,245 |
| 2022（Ｒ４）<br>年度 | 45,804,191（円） | 【一般管理費】16,803,744<br>【情報発信・プロモーション】6,001,364<br>【受入環境整備等の着地整備】1,445,009<br>【コンテンツ開発（観光資源の磨き上げ）】14,527,113<br>【マーケティング・人材育成】3,556,994<br>【収益拡大事業】2,159,532<br>【その他】1,310,435 |
| 2023（Ｒ５）<br>年度 | 38,532,135（円） | 【一般管理費】15,616,914<br>【情報発信・プロモーション】4,923,761<br>【受入環境整備等の着地整備】2,340,289<br>【コンテンツ開発】4,445,105<br>【マーケティング・人材育成】1,421,189<br>【収益事業】7,383,969<br>【その他】2,400,908 |

| | | |
|---|---|---|
| 2024（Ｒ６）<br>年度 | 52,289,285（円） | 【一般管理費】15,937,501<br>【コンテンツ開発】3,365,540<br>【マーケティング調査】896,712<br>【人材育成】838,726<br>【受入体制整備】2,152,817<br>【情報発信】2,543,938<br>【事業費】1,647,080<br>【収益事業】25,572,582<br>【その他】1,998,800 |
| 2025（Ｒ７）<br>年度 | 54,332,555（円） | 【一般管理費】16,000,000<br>【コンテンツ開発】5,000,000<br>【マーケティング調査】1,000,000<br>【人材育成】700,000<br>【受入体制整備】200,000<br>【情報発信】1,800,000<br>【事業費】1,300,000<br>【収益事業】15,964,635<br>【その他】400,000 |
| 2026（Ｒ８）<br>年度 | 54,332,555（円） | 【一般管理費】16,000,000<br>【コンテンツ開発】5,000,000<br>【マーケティング調査】1,000,000<br>【人材育成】700,000<br>【受入体制整備】200,000<br>【情報発信】1,800,000<br>【事業費】1,300,000<br>【収益事業】15,964,635<br>【その他】400,000 |

### （３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

〇関係市町村からの負担金の確保
　持続的に運営できるＤＭＯを確立するため、協議会を法人化するにあたり各市町村の負担金を大幅に増額し、継続して運営できる体制を整備した。
〇補助事業等の活用
　事業を効果的に行うため、観光庁に限らず様々な省庁の支援メニューの活用を検討する。
〇旅行業務
　収益事業の柱として実施。当観光圏のコンセプトを体感できる着地型旅行商品を造成・販売する。ガイド、体験、交通、宿泊等を組み合わせた、付加価値の高い高単価商品とする。
〇受託事業
　収益事業として実施。地域にとって必要な事業に限り、大分県や自治体、関係協議会や民間事業からの委託事業を受託し事業を行う。
〇各種物販事業（特産品のネット販売や各種グッズ販売など）の検討

様式１

## ８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

＜都道府県の意見＞
・大分県、別府市、中津市、宇佐市、国東市、豊後高田市、杵築市、日出町、姫島村は、（一社）豊の国千年ロマン観光圏を大分県および市町村における地域連携ＤＭＯとして登録したいので申請します。

## ９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

※県単位の地域連携 DMO「公益社団法人ツーリズムおおいた」とエリアが重なる。

**【他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】**
（エリアが重複する●●ＤＭＯとは、月に一度の連絡会を行い、各取組の意見交換を行っている。

**【区域が重複する背景】**

**【重複区域における、それぞれの DMO の役割分担について】**
※重複する活動がないか、第三者から見た際に合理的と捉えられる役割分担になっているか等を踏まえて記入すること。

**【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】**

## １０．記入担当者連絡先

| | |
|---|---|
| 担当者氏名 | 堤　栄一郎 |
| 担当部署名（役職） | 一般社団法人豊の国千年ロマン観光圏（事務局長） |
| 郵便番号 | 〒874-0926 |
| 所在地 | 大分県別府市京町 11-8 |
| 電話番号（直通） | ０９７７－８５－８５１１ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７７－８５－８５１６ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | jikuhaku@millennium-roman.jp |

様式１

## １１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 別府市 |
| 担当者氏名 | 小林　聖矢 |
| 担当部署名（役職） | 観光戦略部　観光課 |
| 郵便番号 | 874-0905 |
| 所在地 | 大分県別府市上野口町１－１５ |
| 電話番号（直通） | ０９７７－２１－１１１１（代表） |
| ＦＡＸ番号 | ０９７７－２３－０５５２ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | tou-te@city.beppu.oita.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 中津市 |
| 担当者氏名 | 山本　雄一 |
| 担当部署名（役職） | 観光推進課 |
| 郵便番号 | 871-0058 |
| 所在地 | 大分県中津市豊田町１４番地３ |
| 電話番号（直通） | ０９７９－２２－１１１１（内線３２１） |
| ＦＡＸ番号 | ０９７９－２４－４０２０ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | yamamoto.yuuichi@g.city-nakatsu.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 宇佐市 |
| 担当者氏名 | 宮崎　恭典 |
| 担当部署名（役職） | 経済部　観光・ブランド課 |
| 郵便番号 | 879-0492 |
| 所在地 | 大分県宇佐市大字上田１０３０番地の１ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－３２－１１１１（内線４７４） |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－３２－２３２４ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | Tourism10@city.usa.oita.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 豊後高田市 |
| 担当者氏名 | 安森　貴之 |
| 担当部署名（役職） | 商工観光課（係長） |
| 郵便番号 | 879-0621 |
| 所在地 | 豊後高田市是永３９番地３ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－２５－６２１９ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－２２－０９５５ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | yasumori@city.bungotakada.oita.jp |

様式１

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 国東市 |
| 担当者氏名 | 福田　智宏 |
| 担当部署名（役職） | 観光課（課長補佐） |
| 郵便番号 | 873-0511 |
| 所在地 | 大分県国東市国東町小原２６６２番地１ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－７２－５１６８ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－７２－５１７３ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | fukuda.tomohiro@city.kunisaki.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 杵築市 |
| 担当者氏名 | 手島　和宣 |
| 担当部署名（役職） | 商工観光課 |
| 郵便番号 | 873-0001 |
| 所在地 | 大分県杵築市大字杵築３７７番地１ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－６２－３１３１（代表） |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－６３－３８３３ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | kazunobu-teshima@city.kitsuki.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 日出町 |
| 担当者氏名 | 間部　真弓 |
| 担当部署名（役職） | まちづくり推進課（係長） |
| 郵便番号 | 879-1500 |
| 所在地 | 大分県速見郡日出町２９７４番地１ |
| 電話番号（直通） | ０９７７－７３－３１５８ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７７－７３－３１６９ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | machizukuri@town.hiji.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 姫島村 |
| 担当者氏名 | 須賀　香葉 |
| 担当部署名（役職） | 水産・観光商工課 |
| 郵便番号 | 872-1501 |
| 所在地 | 大分県東国東郡姫島村１６３０－１ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－８７－２２７９ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－８７－３６２９ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | suikan02@vill.himeshima.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 大分県 |
| 担当者氏名 | 安部　茉衣子 |

様式１

| | |
|---|---|
| 担当部署名（役職） | 商工観光労働部　観光誘致促進室（主任） |
| 郵便番号 | 870-0022 |
| 所在地 | 大分県大分市大手町３－１－１ |
| 電話番号（直通） | ０９７－５０６－２１２２ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７－５０６－１７２９ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | abe-maiko@pref.oita.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 大分県 |
| 担当者氏名 | 彦森　美桜 |
| 担当部署名（役職） | 東部振興局　地域創生部 |
| 郵便番号 | 873-0504 |
| 所在地 | 大分県国東市国東町安国寺７８６－１ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－７２－０８５７ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－７２－０１９４ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | hikomori-mio@pref.oita.lg.jp |

| | |
|---|---|
| 都道府県･市町村名 | 大分県 |
| 担当者氏名 | 紫原　佐保美 |
| 担当部署名（役職） | 北部振興局 地域創生部 |
| 郵便番号 | 879-0454 |
| 所在地 | 大分県宇佐市大字法鏡寺２３５－１ |
| 電話番号（直通） | ０９７８－３２－１３７３ |
| ＦＡＸ番号 | ０９７８－３２－４３２２ |
| Ｅ－ｍａｉｌ | shihara-sahomi@pref.oita.lg.jp |

# （登録）【地域連携】一般社団法人 豊の国千年ロマン観光圏

様式２

記入日： 令和6年 7月 19日

## 基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】
大分県 別府市、中津市、宇佐市、国東市、豊後高田市、杵築市、日出町、姫島村
【設立時期】 平成29年4月3日
【設立経緯】
認定観光圏の観光地域づくりプラットフォームとして機能していた協議会を法人化した。
【代表者】 代表理事 日置 伸夫・西田 陽一
【マーケティング責任者（CMO）】 事務局長 堤 栄一郎
【財務責任者（CFO）】 事務局長 堤 栄一郎
【職員数】 3人（常勤3人（正職員3人）
【主な収入】
市町村負担金 26百万円、補助金等 3.8百万円、収益事業 18百万円、委託事業 10百万円（令和6年度決算）
【総支出】
事業費 11百万円、一般管理費 17百万円、収益事業 25百万円（令和6年度決算）
【連携する主な事業者】
各地域の旅館ホテル組合や交通事業者、農林水産業者、大学、国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会など

## KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

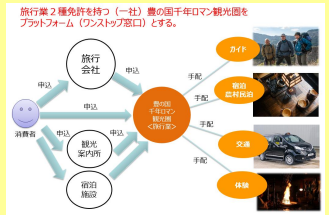
| 項目 | | 2021（R3）年 | 2022（R4）年 | 2023（R5）年 | 2024（R6）年 | 2025（R7）年 | 2026（R8）年 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 旅行消費額1人あたり（円） | 目標 | 30,398<br>(67,204) | 32,398<br>(69,204) | 36,041<br>(55,000) | 37,041<br>(72,000) | 38,041<br>(74,000) | 39,041<br>(76,000) |
| | 実績 | 17,742<br>(集計なし) | 35,041<br>(51,021) | 32,797<br>(71,098) | 36,630<br>(73,431) | ( ) | ( ) |
| 延べ宿泊者数（千人） | 目標 | 2,461<br>(100) | 2,861<br>(300) | 2,783<br>(616) | 3,275<br>(725) | 3,375<br>(800) | 3,475<br>(850) |
| | 実績 | 1,664<br>(2) | 2,616<br>(51) | 3,296<br>(337) | 集計中<br>(集計中) | ( ) | ( ) |
| 来訪者満足度（%） | 目標 | 32.5<br>(26.7) | 32.6<br>(27.2) | 35.0<br>(42.0) | 36.8<br>(41.9) | 36.9<br>(42.0) | 37.0<br>(42.1) |
| | 実績 | 33.0<br>(集計なし) | 34.6<br>(41.8) | 36.7<br>(41.8) | 36.5<br>(39.7) | ( ) | ( ) |
| リピーター率（%） | 目標 | 62.4<br>(30.8) | 62.5<br>(31.3) | 53.0<br>(28.0) | 54.0<br>(29.0) | 55.0<br>(30.0) | 56.0<br>(31.0) |
| | 実績 | 53.0<br>(集計なし) | 49.8<br>(26.2) | 53.6<br>(27.5) | 59.0<br>(26.0) | ( ) | ( ) |

## 戦略

【主なターゲット】
欧米豪のハイエンド層
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
国東半島六郷満山文化など、千年以上続く歴史・文化をテーマとした滞在コンテンツを企画・活用し、ガイド、宿泊、交通を組み合わせた滞在ツアーを造成・販売し、滞在交流観光を目指す。旅行会社、ランドオペレーター、海外OTAを通した滞在ツアー、コンテンツの販売強化。
全国11観光圏が連携したプロモーション。JNTOとの連携によるプロモーション。
【観光地域づくりのコンセプト】
千年の記憶が紐解く知られざる日本 千年ロマン時空の旅

## 具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・滞在コンテンツの充実
観光地域づくりマネージャーが中心となり当地域ならではの歴史・文化を体感できる滞在コンテンツを企画。
・造成したツアーの販売
旅行業2種登録のDMOが販売する。

【受入環境整備】
・観光案内所連携強化
・広域ガイド・多言語ガイド育成
・観光品質認証制度「SAKURA QUALITY」

【情報発信・プロモーション】
・旅行会社・ランドオペレーターとの連携
旅行会社、ランドオペレーターの他、海外OTAを通したツアー・コンテンツの販売強化。
・連携したインバウンドプロモーション
全国11観光圏が連携したプロモーション。
JNTO、九州観光機構等との連携によるプロモーション。